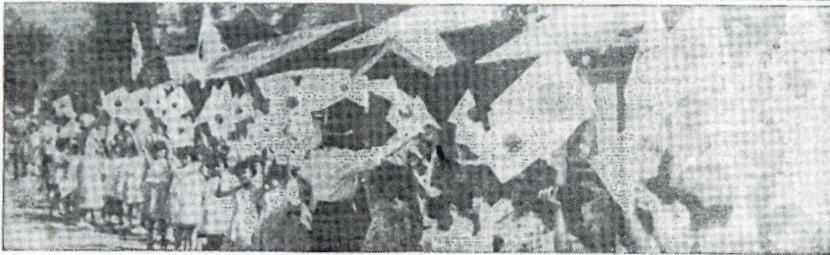


# この喜び天にもどどろけ

**五所川原市報**

青森縣  
五所川原市役所  
電話28・128・329・537  
市長室・広報係  
発行兼編集人 市長室・広報係  
印刷所 陸奥印刷株式会社

市の人口動態  
(7月末日現在)  
(住居登録による)  
人口 39,231 世帯 7,016  
出生 60 傳入 86  
死亡 24 転出 68



## 長富合併祝賀グラフ



写真 (上) 小旗を手に手に部落大通りを萬才行進する小学生 (中) 花田金木町長と歴史的握手を交わす外崎市長  
(右) 合併経過を報告する高橋委員長 (左) 近代消防の威力を示すタンク速消車の放水行進

### こだまする萬才の声

### 豊穡の津軽路に久遠の平和

長富合併の祝賀会は九月一日午前十時から長富高倉町神社境内で挙行、この折柄農家の厄日二十十日にあつたが、天空一片の雲もなく真夏を湛めようとしてたゞこの日祝うかのよう、又とない祝賀日であつた、部落百二十戸の家々には軒端に市役所寄附の真新しい国旗を掲げて祝賀を表し、小学児童は旗行列で萬才高唱しながら部落大通りを練り歩き、村人は挙げて神社境内へ集合してその表情は何れも晴れやかである、定刻君が代の音囀りによつて式が始められ、長富合併促進委員長高橋委員長の経過報告に続き、外崎市長の式辞があつたが、岡市長は今や長富の皆さんは立派な五所川原市民となつた、合併實現までには経過的にさまざまトラブルもあつたが、長富は今や現実に、五所川原市であり、部落民はまされもない五所川原市民である、過去の問題は既に遠く流れ去つた、これから大団圓結、市の將來のため、われわれの子孫のため共に手を取り合つて進んで行きたい、と特に強調し、又この時頃金木町からハイヤーでかけつけた花田全町長は

ながい間病院にあつた自分が医師の許しを得て今朝退院したばかりである何となく宿務だろこの日が合併祝賀会であるとは、自分はずつと皆さんと金木町長として皆さんのための町政を担当してきたが、何れは年頃になつたこの長富を五所川原に嫁にやらなければならぬと思つて来た、今日この婚式の式で成長し切つた娘である長富を今更に見直し、何かしら惜しいような気もするが心の底ではまことに目出度いことだと思つている、どうか五所川原に嫁入りしたからは田金木町民として、本家に劣らないような立派な一家を建てるように努力してもらいたい

と切々訴えるが如きに心懐を吐露してそのはなむけとしたが、式の終了後、岡市長は神社拝殿前で歴史的な握手を交わし、共に市町の発展を期し全委員会に深い感謝を呈した

### お年寄りも今生の喜び

式終了後そのまま祝賀会に移つたが、この日特に招待した七十才以上三十名の老人は、今生のよき思出と一談用の積着て参集し、酒肴に記念の手拭を添えての接待に大喜びでむしろの上に炎天除けの手拭を添へてのせて座を取りよもやま話にチリチリ扇子を交換し合いながら特設の津軽民謡で一日と楽しんだ、一方神社境内の相撲場では青年団の相撲大会が開かれ、盛沢山の賞品を前に飛びつき五人抜きなど日薄れまで熱闘をくり届けられ、一方では五所川原から練り込んだ舞踊手踊隊による五所川原音頭のみどりがあり、そのあややかな手振り足踏みは部落の人々の目を奪ひ、拍手と感嘆の声があふく又市消防署から出動した三トント横みタンク速消車は部落大通りを数回にわたつて放水行進し近代消防の威力を誇示して住民の目を驚かしたこの一日目に耳に新たな驚きと知識が住民の前に示され、合併祝賀会にふさわしい情景をえがいた、祝賀会終了後仙庭市議會議長の発声で萬才を三唱、三百有余の参会者の唱和は、豊かな秋の實りに喜び満ち津軽平野に遠くこだまして、久遠の平和を告げるかよう……

